

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 本文-029 改2
提出年月日	2020年6月25日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料
補機駆動用燃料設備

2020年6月

東京電力ホールディングス株式会社

6 補機駆動用燃料設備

1 燃料設備

(2) 容器

- ・常設

- a. ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (5号機設備, 6,7号機共用)

- 軽油タンク (重大事故等時のみ 6,7号機共用)

- 軽油タンク (6号機設備, 重大事故等時のみ 6,7号機共用)

- ・可搬型

- a. 可搬型代替注水ポンプ (A-1級) 燃料タンク (6,7号機共用)

- b. 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンク (6,7号機共用)

- c. 大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用) 燃料タンク (6,7号機共用)

- d. 大容量送水車 (海水取水用) 燃料タンク (6,7号機共用)

- e. 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 燃料タンク (6,7号機共用)

- タンクローリ (4kL) (6,7号機共用)

(4) 主配管

- ・常設

- ・可搬型

6 補機駆動用燃料設備(非常用電源設備及び補助ボイラーに係るものを除く。)

1 燃料設備に係る次の事項

(2) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び
取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

a. ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク(5号機設備, 6, 7号機共用)

			変更前	変 更 後				
名 称				ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (5号機設備, 6, 7号機共用)				
種	類	—		角型				
容	量	L/個		51以上(200*)				
最	高	使	用	圧	力	MPa		静水頭
最	高	使	用	温	度	℃		40
主	た	て	mm		610*			
	横		mm		610*			
要	胴	板	厚	さ	mm		<input type="text"/> (3.2*)	
	屋	根	板	厚	さ	mm	<input type="text"/> (3.2*)	
	底	板	厚	さ	mm		<input type="text"/> (3.2*)	
寸	管台外径(燃料供給口)		mm		21.7*			
	管台厚さ(燃料供給口)		mm		3.4(3.7*)			
	管台外径(燃料戻り口)		mm		21.7*			
	管台厚さ(燃料戻り口)		mm		3.4(3.7*)			
法	高	さ	mm		600*			
材	胴	板	—		SS400			
	屋	根	板	—		SS400		
	底	板	—			SS400		
個	数		—		2			
取 付 箇 所	系		統	名	—		消火系	
	設		置	床	—		大湊側 D/D ポンプ建屋 T. M. S. L. 12300mm	
	溢水防護上の区画番号		—			—		
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—			—		

注記* : 公称値を示す。

以下の設備は、非常用電源設備のうち非常用発電装置（非常用ディーゼル発電設備）であり、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備として本工事計画で兼用とする。

軽油タンク（重大事故等時のみ 6, 7 号機共用）

以下の設備は、非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）であり、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備として本工事計画で兼用とする。

軽油タンク（6 号機設備、重大事故等時のみ 6, 7 号機共用）

・可搬型

a. 可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）燃料タンク（6, 7 号機共用）

			変更前	変更後
名 称			—	*1 可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）燃料タンク （6, 7 号機共用）
種 類	—			角型
容 量	L			□以上（100*2）
最 高 使 用 圧 力*3	MPa			□
最 高 使 用 温 度*3	℃			□
主 要 寸 法	た て	mm		445*2
	横	mm		816*2
	高 さ	mm		365*2
材 料	—			SECC
個 数	—			1*4
取 付 箇 所	—			可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）

注記*1：本設備は可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）の付属機器である。

*2：公称値を示す。

*3：重大事故等時における使用時の値。

*4：可搬型代替注水ポンプ（A-1 級）（6, 7 号機共用）1 個当たりの個数を示す。

b. 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 燃料タンク (6, 7 号機共用)

			変更前	変 更 後
名 称			—	*1 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 燃料タンク (6, 7 号機共用)
種 類	—			角形
容 量	L			□以上 (68* ²)
最 高 使 用 圧 力* ³	MPa			□
最 高 使 用 温 度* ³	℃			□
主 要 寸 法	た て	mm		385* ²
	横	mm		735* ²
	高 さ	mm		310* ²
材 料	—			SPFC
個 数	—			1* ⁴
取 付 箇 所	—			可搬型代替注水ポンプ (A-2 級)

注記*1 : 本設備は可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) の付属機器である。

*2 : 公称値を示す。

*3 : 重大事故等時における使用時の値。

*4 : 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) (6, 7 号機共用) 1 個当たりの個数を示す。

c. 大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）燃料タンク（6,7号機共用）

			変更前	変更後
名 称			—	大容量送水車（原子炉建屋放水設備用） 燃料タンク（6,7号機共用） ^{*1}
種 類	—			角形
容 量	L			□以上（□ ^{*2} ）
最 高 使 用 圧 力 ^{*3}	MPa			□
最 高 使 用 温 度 ^{*3}	℃			□
主 要 寸 法	た て	mm		□ ^{*2}
	横	mm		□ ^{*2}
	高 さ	mm		□ ^{*2}
材 料	—			□
個 数	—			1 ^{*4}
取 付 箇 所	—		大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）	

注記*1：本設備は大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）の付属機器である。

*2：公称値を示す。

*3：重大事故等時における使用時の値。

*4：大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（6,7号機共用）1個当たりの個数を示す。

d. 大容量送水車（海水取水用）燃料タンク（6,7号機共用）

			変更前	変更後
名 称			—	大容量送水車（海水取水用） 燃料タンク（6,7号機共用） *1
種 類	—			角形
容 量	L/個			□以上（□*2）
最 高 使 用 圧 力*3	MPa			□
最 高 使 用 温 度*3	℃			□
主 要 寸 法	た て	mm		□*2
	横	mm		□*2
	高 さ	mm		□*2
材 料	—			□
個 数	—			1*4
取 付 箇 所	—			大容量送水車（海水取水用）

注記*1：本設備は大容量送水車（海水取水用）の付属機器である。

*2：公称値を示す。

*3：重大事故等時における使用時の値。

*4：大容量送水車（海水取水用）（6,7号機共用）1個当たりの個数を示す。

e. 大容量送水車（熱交換器ユニット用）燃料タンク（6,7号機共用）

			変更前	変更後
名 称			—	大容量送水車（熱交換器ユニット用） 燃料タンク（6,7号機共用） ^{*1}
種 類	—	角形		
容 量	L/個	□以上（□ ^{*2} ）		
最 高 使 用 圧 力 ^{*3}	MPa	□		
最 高 使 用 温 度 ^{*3}	℃	□		
主 要 寸 法	た て	mm		□ ^{*2}
	横	mm		□ ^{*2}
	高 さ	mm		□ ^{*2}
材 料	—	□		
個 数	—	1 ^{*4}		
取 付 箇 所	—	大容量送水車（熱交換器ユニット用）		

注記*1：本設備は大容量送水車（熱交換器ユニット用）の付属機器である。

*2：公称値を示す。

*3：重大事故等時における使用時の値。

*4：大容量送水車（熱交換器ユニット用）（6,7号機共用）1個当たりの個数を示す。

以下の設備は、非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）であり、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備として本工事計画で兼用とする。

タンクローリ（4kL）（6,7号機共用）

(4) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料 (常設及び可搬型の別に記載し, 可搬型の場合は, 個数及び取付箇所を付記すること。)

・常設

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
消 火 系		—					ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク ～ ディーゼル駆動消火ポンプ (5号機設備, 6,7号機共用)		1.0	66	21.7*	3.7*	STPG370
							ディーゼル駆動消火ポンプ ～ ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料タンク (5号機設備, 6,7号機共用)		1.0	66	21.7*	3.7*	STPG370

注記* : 公称値を示す。

以下の設備は, 非常用電源設備のうち非常用発電装置 (代替交流電源設備) であり, 補機駆動用燃料設備のうち燃料設備として本工事計画で兼用とする。

軽油タンク 軽油タンク (A)～タンクローリ接続口 (重大事故等時のみ 6,7号機共用)

軽油タンク 軽油タンク (B)～タンクローリ接続口 (重大事故等時のみ 6,7号機共用)

軽油タンク 軽油タンク (A)～タンクローリ接続口 (6号機設備, 重大事故等時のみ 6,7号機共用)

軽油タンク 軽油タンク (B)～タンクローリ接続口 (6号機設備, 重大事故等時のみ 6,7号機共用)

・可搬型

以下の設備は、非常用電源設備のうち非常用発電装置（代替交流電源設備）であり、補機駆動用燃料設備のうち燃料設備として本工事計画で兼用とする。

緊急安全対策資機材系 タンクローリ給油ライン接続用 20m ホース (6, 7 号機共用)

緊急安全対策資機材系 タンクローリ給油ライン接続用 40m ホース (6, 7 号機共用)